

小笠原で暮らすイルカたち～嫁島のミカワは子育て真っ最中～

2020年4月に白い体色の仔イルカを連れていたことが話題となった、メスのミナミハンドウイルカ・#173（ニックネーム：ミカワ）（イルカ通信No.96）。白い仔イルカの現在とはいうと、2020年8月の嫁島調査でミカワに出会った際には仔イルカを同伴しておらず、その後も情報がないため、残念ながらすでに死んでしまったと考えられます…。また、過去の出産記録を見る限り、今回の白い個体だけではなく、ミカワの子どもはいずれもうまく育っていない印象を受けます。

そんなミカワですが、今年の夏に再び子どもを出産しました！ガイドの方からご提供いただいた情報を基にすると、ミカワは2021年7月5日から7月7日にかけて出産したと推測されます。それから約4か月、11月4日の提供データでも、仔イルカ（#381、ニックネーム：ジャギー※）と一緒に泳いでいる姿が確認されています。仔イルカは背ビレや体表に傷が目立ちますが、今のところ順調に育っているようです。今度こそ、無事に大きく育ってくれることを願っていますね。

※背ビレの後縁がギザギザなので、「ジャギー」と命名。

2021年6月29日



妊娠中でお腹が大きく膨らんでいる#173（ミカワ）。この約1週間後に出産が確認された。

2021年11月4日



#381（ジャギー）は出生して約4か月が経過。まだ胎児線（胎児しわ）が残る。

写真提供
打込みゆき

#173 ミカワ ♀ 観察歴 2005年～



吻（ふん）の左側に切れ込みが入っており、クイツと上唇を上げたような表情に見えるのが特徴。子どもの頃から聳島列島の嫁島海域でのみ観察されており、今年の夏に3度目の出産を確認。母親は#157（ミカワ母）。

ザトウクジラが帰ってきました！

2021年11月3日、父島東側海域で今シーズンの初ザトウクジラが確認されました。待ちに待ったザトウシーズンのスタートですね！これから徐々に島周りで見られるクジラの数が増えてきますが、ホエールウォッチングを行うにあたり、次に掲げる自主ルールの遵守にご理解とご協力をお願いします。

- ・クジラから300メートル以内を減速水域とする。
- ・クジラから100メートル以内を侵入禁止水域とする。
- ・クジラの進路や行動を妨げない。
- ・クジラの方から100メートル以内に接近してきた場合は、低速で離れるか停船状態とし、進入禁止水域から脱するまでこの行動をとる。

